



大和合成株式会社様 3月30日訪問

2039ビジョン（創業100周年に向けて）

プラスチックの“可能性を提案する” ファーストコールカンパニーになる。

素晴らしいビジョンを掲げ、各種合成樹脂成形品の製造並びに販売をされておられる大和合成株式会社様。1995年にはベトナムのホーチミンに工場を設立され、97年にはハノイに工場を設立されています。現地で働くベトナムの方は1,500名に近づくほど。そこに関わる日本人は3名。

現地のごことは現地の人に任せることが大事！

育てることにつながる。

ベトナム人だけで回る仕組みを構築すべき。5年から10年かけて育てる覚悟がなければ難しい。ベトナムの文化に合わせて取り組むことで、**社会が変わっておかしいと気づく従業員も増えてきた**。まだまだやることはたくさんある。

感謝の気持ちを持つことも大事

ベトナムで仕事をさせて頂いているという気持ちでなければダメ。文化や習慣を理解し日本側として譲れないことはしっかりと教えていく必要がある。

現地の「今」を知ることの重要性

ベトナムに来れば仕事があると期待しすぎて、進出することは良くない。現地の企業も成長しているので安易な考えだと価格競争に巻き込まれるだけ。しっかりとリサーチする必要がある。

ベトナム人の方にリーダー研修を受けて頂き日本の仕組みを知ってもらおう。またインターンシップは従業員の方への教育にもなる。学生がいることで教えることで自らの学びにもなり成長につながるとおっしゃる奥野社長。留学生は刺激を与えてくれると期待されています。従業員の方が気づきを得て仕事に取り組む意欲を生み出し、可能性を生み出す機会になるとお考えです。教育の大切さを肌で感じておられるのだと思います。7月から9月にはエール学園からインターンシップに留学生がお世話になることになるかもしれないですね。なるほどな！と感じた言葉に勤勉と勤労は違いますよという言葉。日本のように終身雇用の考えがないというのがよくわかる表現です。これはどういう事かという・・・。ABCプラットフォームの定例会でこそりお伝えさせていただきますね。

作成：二加屋 人財コーディネイト事業部 西野

